

経営比較分析表（平成30年度決算）

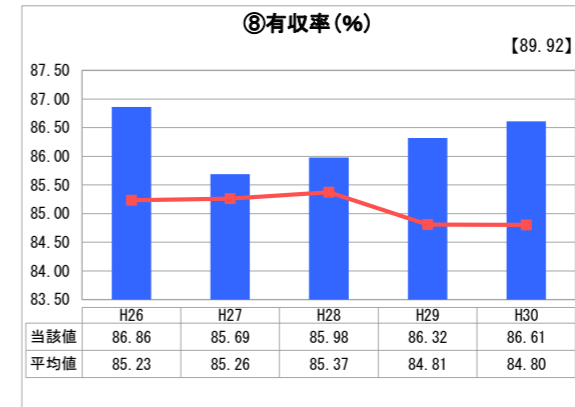
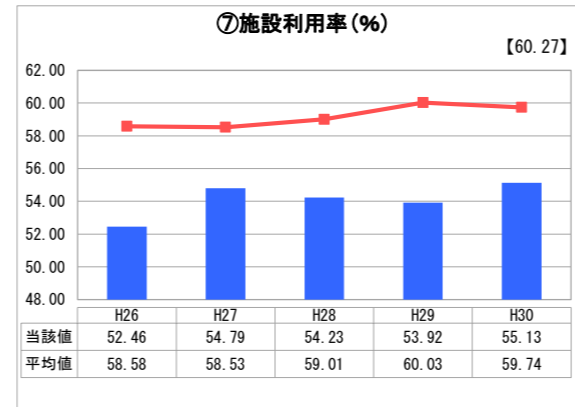
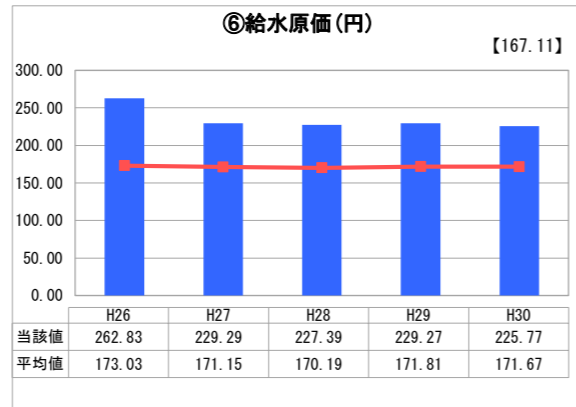
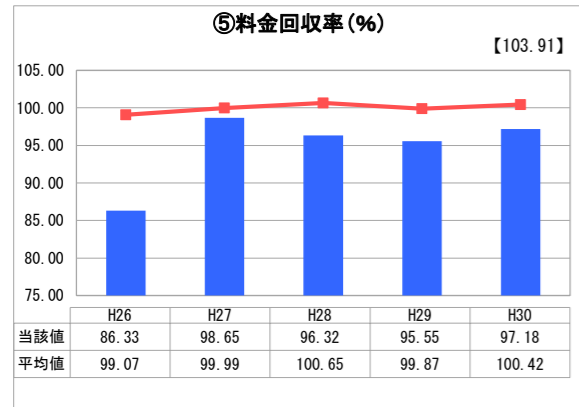
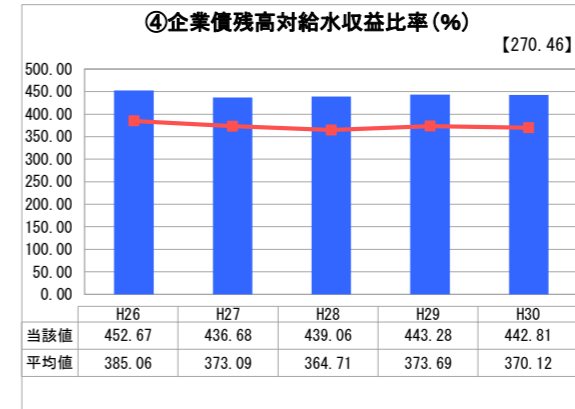
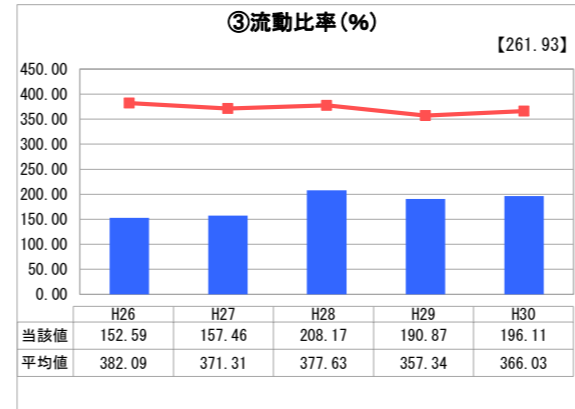
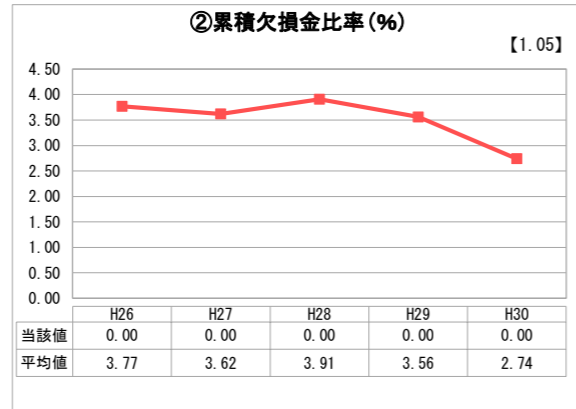
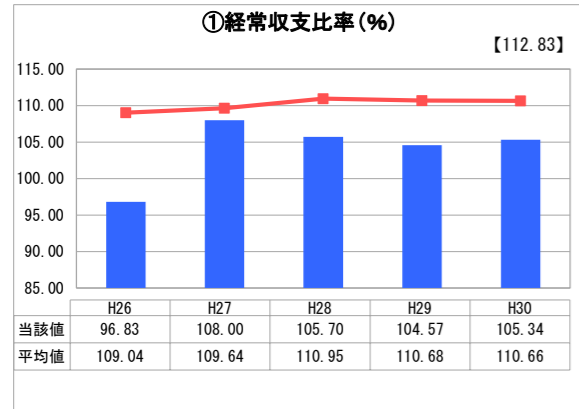
茨城県 かすみがうら市

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|--------|
| 法適用 | 水道事業 | 末端給水事業 | A5 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) | |
| - | 50.99 | 95.67 | 4,212 | |

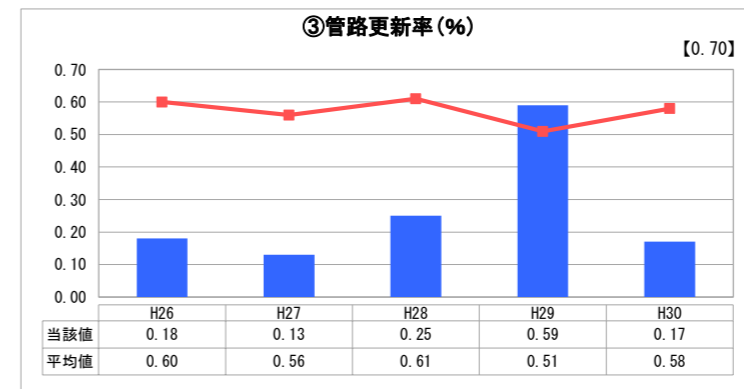
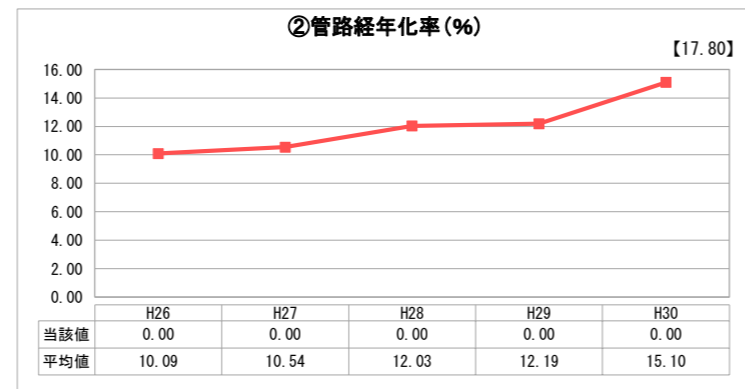
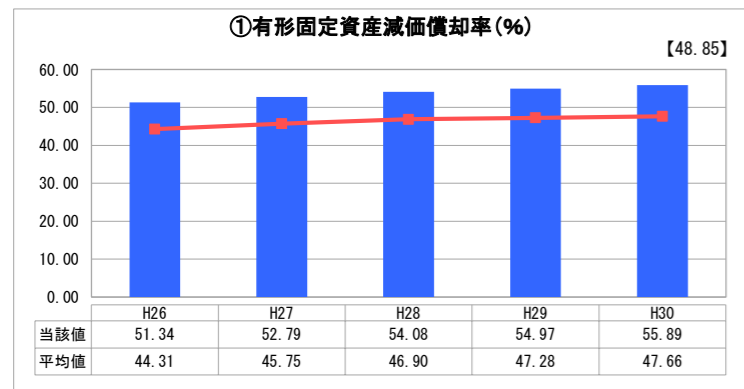
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 42,193 | 156.60 | 269.43 |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km ²) | 給水人口密度(人/km ²) |
| 40,240 | 118.77 | 338.81 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該団体値（当該値） |
| — | 類似団体平均値（平均値） |
| 【 | 平成30年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率の減少は水道料金改定（H28.1施行）に伴い、給水収益が減ったことが理由である。経費削減等の努力をしながら更なる向上を目指す。
 ② 累積欠損金比率は、過去においても0%であり良好である。
 ③ 流動比率は、100%以上の高い比率を確保している。類似団体平均より低いのは新会計制度へ移行したため貸倒引当金が適用された影響である。
 ④ 料金回収率は、平成28年度の水道料金改定に伴う料金値下げのため下降した。今後は上昇できるよう経費削減等に努めていく。
 ⑤ 給水原価は、類似団体平均値よりも高い状況であることから原価を下げるため経費削減等の努力が必要である。
 ⑥ 施設利用率は、率を高めるため水道事業ビジョン及び経営戦略に基づき施設の統廃合やダウンサイジングを進めていく。
 ⑦ 有収率は、類似団体平均値よりも高い率を保っているが、今後とも有収率を上げるため漏水調査や漏水修理等の実施を継続して行う。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却費については類似団体平均値と比べて高いため計画的な施設の更新を実施していく。
 ② 管路更新率は年度によって若干の差がある。下降した理由は昨年度と比較して老朽管の更新工事が減ったためである。

全体総括

今後においては給水収益の増を目的とした水道加入促進対策や給水原価を下げるための経費削減等の努力、有収率を高めるための漏水対策の強化、施設の老朽化更新等をして、更なる経営の健全化を図る必要があると考える。
 水道事業ビジョンや経営戦略（水道施設更新計画及び財政計画）等を実施して各課題に対応する。